

# 山毛櫨(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第3号

～子どもたちが、ブナ(村木)の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

令和3年度の1学期が終了しました。地域の皆様に支えていただき、学園の子どもたちは大きく成長してきています。音楽会では新型コロナウイルス感染拡大防止の対応をとって2部制で行いました。菜の花テレビ様にライブ放送をお願いし、各家庭でもご覧いただきました。練習で積み重ねてきた力を発揮し、達成感を感じていた子どもたちです。地域のみinnで見守り育て、子どもたちの成長をみんなで喜ぶ野沢温泉村のすばらしい教育力に支えられていることを日々感じております。ありがとうございます。令和3年度の教育方針を「野沢温泉小学校グランドデザイン」をもとに紹介します。

野沢温泉小学校長 市村 一彦

## 一 令和3年度 野沢温泉小学校の教育方針

### 1 野沢温泉学園 教育目標

ふるさと野沢温泉村を心に刻み 心を世界に拓き 心豊かな人間性を育む教育

「願う子ども像」 ○世界の人となる ○ふるさとに学ぶ ○なかよし

～豊かな自然の中で好んで体を動かし、友だちを呼び込んで遊びをつくり、学びを楽しんでいる子ども。(低学年)～

～物や事に触れて、興味・関心を呼びおこし、自ら追究し、友と共に学ぶ楽しさや喜びを見いだしていける子ども。(中・高学年)～

### 2 学校教育目標

やさしく かしく たくましく

### 3 めざす子どもの姿

- (1) 自分から進んであいさつできる子ども
- (2) 思いやりと自律の心を高める子ども
- (3) 課題を持って、友と共に追究できる子ども
- (4) 自ら進んで心と体を鍛える子ども



「English Time」

### 4 本年度の重点

#### (1) 「つなぐ」

- 学んだことを地域に発信（家庭、地域、外国からの観光客）
- スキーの魅力を味わう特設スキー授業

#### (2) 「つながる」

- 地域素材（ひと・もの・こと）から、体験を通して学ぶ「ふるさと学習」
- 英語学習の充実（幼保小中一貫でコミュニケーションの姿勢や技能を身につける）

#### (3) 「つなげる」

- 異学年の児童が協力し合い一緒に取り組む活動
  - ・縦割り班活動、「遊びの時間」、ペア活動、なかよし給食等



2年生 図工

○授業における「学び合い」でグループ学習のよさを学ぶ

- ・分からないことを分からないと言える教室づくり
- ・自分とちがう視点について認め合える仲間づくり
- ・学びのふり返りの学習場面づくり

○幼保小中の子どもたちの交流活動を通じた各校園の円滑な接続

- ・ジョイント期交流学习、体験入学活動、小中合同集会等



6年生 音楽会 合唱「正解」

## 5 授業づくりで大切にすること

- ・教え込む授業から、子どもの問い（疑問、気づき、共有）から展開する学習づくり
- ・正解不正解を優先せずに「どうしてそうなのか」を見つめる授業づくり
- ・一斉授業からの脱却を支えるケアの精神  
納得しあう授業の終末と次時への展望  
分からないと言える学習集団  
自分とちがう視点を認め合える集団



3年生 消防署見学

## 二 学習指導要領より

学習指導要領では「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成をめざす資質・能力が示されています。

《資質・能力の3つの柱》

参考「信州教育の学びの基盤（長野県教育委員会 2019）」

○学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等の涵養

○未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

○生きて働く知識及び技能の習得

変化が激しく予測困難な時代に向けて、これからを生きる子どもたちには上記のような資質・能力の育成が必要であり、そのような力を子どもたちにつけていかなければなりません。今までは「何を教えるか」という内容やその量(コンテンツ)が重要視されてきたかもしれませんが、これからは「何ができるようになるか」という資質・能力(コンピテンシー)を大切にしていく方向に変わっていくことになります。上記の授業づくりで大切にすることはまさにこの資質・能力の育成がねらいです。



1年生 園工「つちとすな」

## 三 「未来は吐き出す言葉で作られる」

以前、教育講演会で聞いて印象に残っている言葉があります。

「心は聞いてきた言葉でできている、体は食べてきた物でできている、未来は吐き出す言葉で作られる」すてきな言葉だと思いました。これを聞いたときに、私は子どもたちにどんな言葉で伝えてきたか、今どんな言葉を発しているかを振り返りました。GIGA



4年生 英語活動



5年生 田植え

スクール構想やSDGsなど今日的な

学習にも取り組みながら、「花も子どもも無理やり成長させることはできない」という言葉のように、しっかりと教師が子どもの声、心の声に耳を傾け、子どもと向き合い、すてきな言葉で語り合い、子どもと共に豊かな学びを創造していく「チーム野沢温泉小」をめざしていきたいと思います。